

<プロスポーツ観戦>
名古屋オーシャンズ（フットサル）
（チャオ白川スポーツクラブ 岐阜県白川町）

1. 新たなスポーツとして選んだフットサル

チャオ白川スポーツクラブ（以下、スポーツ）は3つの地区（白川、黒川、佐見）に分かれており、それぞれの地区に合わせたスポーツ教室を開いています。白川町では、剣道、ソフトボール、バレーボールといったスポーツ少年団の活動が盛んに行われています。「スポーツとして、新たなスポーツに興味を持ってもらえることはないか？」と考えたとき、子どもに人気のあるサッカーを考えました。しかし、サッカーのゲームを行うだけの人数や会場の確保が出来ず、室内でそれも1チーム5人で出来るフットサルに注目しました。

スポーツ設立記念イベントとして、当時FC岐阜のグリーンスタッフとして活動していたグループの協力を得て、FC岐阜の選手を招いてのフットサル教室を開催。翌日は、第1回スポサルカップと題してフットサルの小学生大会を開催しました。参加は初心者ばかりで、小学校単位やスポ少でのチーム編成とし、低学年・高学年に分かれて行いました。

その後、「フットサルをもっとやってみたい！」という子どもたちの声をもとに、3つの地区でフットサル教室がスタートしました。

2. 『本物を見せよう！』と始まったプロスポーツ観戦

小学生男子の将来の夢の第1位は、スポーツ選手です。『本物を見せよう！』その思いから、平成20年度にFC岐阜を観戦、翌年は中日ドラゴンズ観戦、名古屋グランパス観戦、名古屋オーシャンズ観戦を行いました。

なかでも、名古屋オーシャンズ観戦は、フットサルをやっている子どもたちにとっては、驚きの連続でした。試合展開が早く、室内観戦なので選手の足さばき、スピード感、全体の動きなどが全て間近で見えます。めまぐるしく選手交代が行われ、ゴールキーパーがシュートを打つ場面もあって、プロの動きの早さや意外性に、参加者は釘付けでした。

観戦した試合が名古屋オーシャンズの優勝決定戦に当たっていたこともあって、初めて観戦に行ったときは優勝セレモニーが行われ、選手と握手をしたり、サインをもらうことも出来ました。また、試合後にはサインボールなどのプレゼント企画もあり、参加者の中で商品ゲットした子どももいました。

平成22年度の観戦では、第4回スポサルカップを控えていたこともあって、「MVPの選手に名古屋オーシャンズのグッズをプレゼントしてあげたい！」という思いで、オーシャンズの母体である大洋薬品に選手のサインTシャツをお願いし、実現しました。



3. 子どもの意識変化とフットサルの普及

観戦は少しでも多くの方に参加していただきたいということで、スポーツシーズンの秋は避け、冬に行います。チケット購入は、全てコンビニ購入で割引などはありません。参加費は、大人3千円、子ども2千円、非会員はプラス1千円です。不足分は町からの年間補助金を充てて行っています。



2年続けてフットサル観戦を行いました。参加は25人程ですが、本物に触れた子どもたちは、「もっと練習してプロの選手になる!」と言います。観戦に同行した指導者は試合前の選手のウォーミング・アップ方法や、戦術などを見て学びます。そして、その後の練習では気持ちの持ち方が違ってきます。

最近では、子どもの保護者のお父さん、お母さんもフットサル教室に参加して、家族で取り組む姿も見られます。スポサルカップは小学生だけでなく、一般・壮年・レディースの部門も設けています。今後も地域に根付いたフットサルの普及を行いたいと思います。

(渡辺靖代 チャオ白川スポーツクラブ クラブマネジャー)

【チャオ白川スポーツクラブクラブ・プロフィール】

1. 設 立 : 平成20年2月23日設立
2. 地 域 : 人口: 約10,000人。白川、黒川、佐見の3つの中学校区に大きく分けられる。
3. クラブ : 会員数: 492人 (平成23年6月20日時点)
特徴: 会場の都合で、毎週曜日を決めて活動するのが難しいため、参加費は来たときにお金を払うというスタイル。
4. 連絡先: 事務局
〒509-1105 岐阜県加茂郡白川町河岐 1645-1 町民会館内
TEL: 0574-72-2317 FAX: 0574-72-2503
E-mail: watanabe-yasuyo@town.shirakawa.gifu.jp 担当 渡辺靖代